

そのごみの分別、正しいですか？

7月13日と8月8日に、当市のごみを処理する施設「道前クリーンセンター」で火災が発生しました。火災の原因は、発熱・発火を起こすリチウムイオン電池の混入とみられます。

火災などが発生すると修理に多くのお金と時間がかかるだけでなく、その後のごみ処理に支障をきたします。今回はセンターへの直接搬入が一時的に中止に。最悪の場合、皆さんの普段のごみを収集できなくなる可能性もあります。

そのような事態を防ぐため、ごみを出す際は分別とルールを守をお願いします。



①7月13日に発生した火災。約2時間30分後に消し止められた ②火災により焦げたコンベヤ ③指定日以外に出され、カラス被害にあっているごみ ④粗大ごみステーションで出た、粗大ごみシールを貼っていない違反ごみ

施設を守るためには分別ルールの徹底が必要です

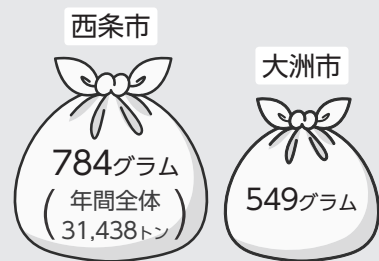


道前クリーンセンター 所長 山本洋正

道前クリーンセンターはごみの処理が自動化された施設です。皆さんの分別がきちんと行われている前提で処理が進むため、処理の途中で手作業で選別するのは難しく、危険なものが混入していると今回のような火災につながる恐れがあります。電池などは処理の際の衝撃で爆発が起きることもあり大変危険です。このような事態になると多額の修理費が必要となり、また、ごみ収集に支障をきたし、市民の皆さんに不便をかけることとなります。ごみを袋に入れる前に一度、本当に分別が合っているか確認してください。悩む際はアプリ(左ページ参照)の活用を。家電から電池を取り除けない際などは、事前に担当課までお問い合わせください。

ごみを捨てる際の皆さん一人一人の行動が、当市の良好なごみ処理につながります。

1日1人当たり 家庭からの
ごみの排出量 (平成30年度)



毎日、1.4倍以上のごみを処理

出典：環境省平成30年度一般廃棄物処理実態調査

処理にかかるたくさんのお金

平成30年度の当市の家庭から出たごみの量は3万1438トン。1人当たり※、毎日約780グラムのごみを出していることになります。県内ではなんとワースト2位。県下で1人当たりのごみが一番少ない大洲市と比較すると、毎日1・4倍以上のごみを捨てています。

県下ワースト2位のごみ排出量

※平成30年9月30日現在の人口(109,805人)での計算

あなたはいくつ守っていますか？ ごみ出しのルール

●ごみの出し方

- ☐ 地区・収集日は合っているか
アプリやごみカレンダーで確認できます。
- ☐ ごみステーションに出すのは当日午前8時まで
- ☐ 市指定のごみ袋を使用する
- ☐ 一度に出すごみは3点まで (資源ごみを除く)
3点を超えるごみは、道前クリーンセンターに直搬入してください。
※道前クリーンセンターのごみの受け入れ状況は、市ホームページなどでご確認ください。
- ☐ 粗大ごみには、その年度の粗大ごみシールを貼る
前年度のシールは使用できません。
- ☐ 事業系のごみは、道前クリーンセンターへ直接搬入か許可業者に収集運搬を依頼する
商業・工業・農林水産業のごみは、ごみステーションでは回収できません。

ごみの出し方・分け方、ごみカレンダーなどはこちら▶



●ごみの分別

- ☐ スプレー缶やカセット式ガスボンベは中のガスを抜いて、各地区の指定日に出す
中身を使い切ってから風通しの良い屋外で大きな穴を開けましょう。
- ☐ 乾電池・ボタン電池などは取り除く
電子機器を捨てる際は、電池を入れたままにしないよう注意。指定ごみ袋の外袋に入れて、指定の日に捨てましょう。
- ☐ リチウムイオン電池やバッテリーなどは引き取りを依頼
市では回収していません。販売店や専門の処理業者で引き取ってもらいましょう。
※リチウムイオン電池は多くの充電できる家電製品に使用されています。右マークが目印です。

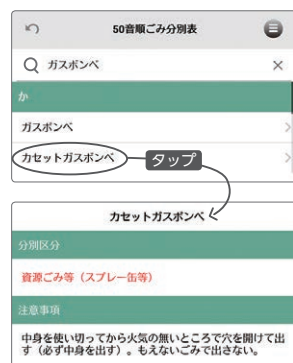


ごみの出し方に迷ったら、すぐに検索できる 便利なアプリ「さんあ〜る」の活用を

お住まいの地域のごみ収集日や分別方法などが簡単に調べられる、無料のスマートフォン向けアプリです。

ごみの品名から分別区分や出し方を手軽に検索できます。また、登録した地域のごみの収集日をカレンダー形式で確認できるほか、設定した時間に収集日をお知らせする通知機能などもあります。ぜひ活用して、ごみの分別に役立ててください。

ごみ分別表で簡単に検索



ダウンロードはこちら

